

令和8年度実施

## 新潟県公立学校教員採用選考検査実施要項

### 第1次検査1回目（春選考）

期 日：令和8年5月10日（日）

実施種別：小学校教諭

中学校教諭「国語」「英語」「技術」

高等学校教諭「国語」「商業」「工業（機械、電気、工業化学）」

特別支援学校教諭

※選考区分「一般選考」「障害者特別選考」で実施

申請受付期間：令和8年2月9日（月）午後1時～3月9日（月）午後5時まで

合格発表：令和8年5月下旬

### 第1次検査2回目（夏選考）

期 日：令和8年7月5日（日）

実施種別：全種別

※選考区分「一般選考」「障害者特別選考」「社会人実務経験者特別選考」

「免許状取得猶予特別選考」「大学3年時特別選考」で実施

申請受付期間：令和8年4月20日（月）午後1時～6月1日（月）午後5時まで

合格発表：令和8年7月下旬

### 第2次検査

期 日：令和8年8月20日（木）～23日（日）のいずれか1日

合格発表：令和8年9月下旬

- ・同一種別（教科）に限り春選考と夏選考の両方に出願できます。
- ・春選考と夏選考の両方に出願した方で、春選考の第1次検査合格者は、夏選考に出願しても受検者名簿から削除されます。
- ・申請受付は、電子申請のみとなります。また、郵送による提出が必要な書類があります。
- ・災害発生等により、期日、会場等が変わることがあります。新潟県教育委員会 教員募集サイトで変更点をお知らせしますので、直前まで確認してください。
- ・出願状況に応じて秋選考（11月頃）を行う場合があります。実施の可否については、新潟県教員採用総合サイトでお知らせします（10月頃）。

新潟県教育委員会

## 1 検査の目的

新潟県公立学校教員（新潟市立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校教員を除く。以下同じ。）を志願する者について、令和9年度の採用に当たって、選考の資料を得ること。

## 2 選考区分、採用予定数及び出願資格

### 1 一般選考（○の種別や教科は春選考・夏選考の両方で募集します）

#### (1) 出願種別・教科等

出願種別	出願形式・募集教科等	採用予定数※
○小学校教諭	出願形式Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	Ⅰ 105人程度 Ⅱ 10人程度 Ⅲ 5人程度
	「英語専科指導教員」	若干人
中学校教諭	出願形式Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 「○国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「美術」 「保健体育」「家庭」「○英語」「○技術」	Ⅰ 173人程度 Ⅱ 5人程度 Ⅲ 2人程度
高等学校教諭	「○国語」「地理歴史（地理、歴史）」「公民」「数学」 「理科（物理、化学、生物、地学）」「音楽」「美術」 「保健体育」「家庭」「情報」「英語」「農業」 「○工業（機械、電気、工業化学）」「○商業」「水産」	130人程度
○特別支援学校教諭	特別支援学校教諭	60人程度
	「通級指導教室担当教員」	若干人
養護教諭	※ 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校いずれかの校種に配置される。	5人程度
栄養教諭		採用なし

#### (2) 出願資格

- ① 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
- ② 昭和40年4月2日以降に生まれた者
- ③ 出願種別の教諭の普通免許状（中学校教諭、高等学校教諭においては、出願教科に応じた普通免許状）、又は養護教諭の普通免許状を有している者、若しくは、これらの免許状を令和9年4月1日までに取得する見込みの者
  - ・ 小学校教諭「英語専科指導教員」は、小学校教諭の普通免許状に加えて中学校教諭「英語」、高等学校教諭「英語」のいずれかの普通免許状が必要です。
  - ・ 中学校教諭または高等学校教諭に出願する場合、当該教科の中学校と高等学校の両方の免許状を有している、若しくは取得見込みであれば、もう一方の種別を第2希望とすることができます。加えて、小学校教諭の免許状を有している、若しくは取得見込みであれば、小学校教諭を第3希望とすることができます。第2希望や第3希望の可否は、第2次検査結果の発表時に掲載します。
  - ・ 特別支援学校教諭に出願するには、特別支援学校教諭の普通免許状に加えて小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭のいずれかの普通免許状が必要です。
  - ・ 盲学校、聾学校、養護学校教諭の普通免許状を有する者は、特別支援学校教諭の普通免許状を有するものとみなします。
  - ・ 特別支援学校教諭「通級指導教室担当教員」に出願するには、特別支援学校教諭の普通免許状に加えて小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭のいずれかの普通免許状を有し、国公立学校における正規教員として、1年以上の通級指導教室担当教員の勤務経験が必要です。

※採用予定数は、法改正や欠員の状況等により増減する場合があります。

※採用予定数並びに教科別配置用予定人数について、令和8年4月中旬頃、ホームページに掲載します。

※採用予定数には、令和7年度実施大学3年時特別選考の「令和9年度採用候補者名簿」登載者の人数を含みます。

## 《出願形式Ⅰ、Ⅱ、Ⅲについて》

Ⅰ	新潟市立学校を除く新潟県全域での小学校、中学校に勤務を希望する者
Ⅱ	小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市、津南町、湯沢町に限る小学校、中学校に勤務を希望する者
Ⅲ	佐渡市に限る小学校、中学校に勤務を希望する者

- ・小学校教諭、中学校教諭には上の3つの出願形式があります。
- ・出願形式Ⅱ、Ⅲは、当該地域に専ら勤務することが採用条件となり、全県的な異動による勤務はできません。
- ・出願形式Ⅱ、Ⅲは、出願形式Ⅰとは別に、それぞれ出願した者の中から採用します。また、出願形式Ⅱ、Ⅲで採用されなかった者を出願形式Ⅰで採用することがあります。
- ・出願形式Ⅱ、Ⅲで出願した場合、出願形式Ⅰでの採用の有無について出願時に希望することができます。
- ・高等学校教諭に採用された者は、新潟市立学校を除く新潟県全域での配置となります。

## 2 障害者特別選考

### (1) 出願種別・教科等

「**2**の1一般選考」に記載のある出願種別・教科等で実施します。

### (2) 採用予定数

10人程度（一般選考の採用予定数とは別枠）

### (3) 応募資格

年齢及び免許状要件は「**2**選考区分、採用予定数及び出願資格」の記載と同じとし、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受け、その程度が1級から6級までの者とし、出願時に、「障害者特別選考申請書」及び「身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の写し」により資格の有無を審査し、その結果を通知します。審査が通らなかった場合、一般選考で受検することができます。

### (4) 検査の特例

原則として一般選考受検者と同様の検査を行います。出願種別や教科等、障害の程度により、筆答検査及び実技検査の一部を変更又は免除します。また、点字、拡大文字、手話、車いす、口頭による試問等、必要に応じて対応します。

## 3 社会人実務経験者特別選考

### (1) 出願種別・教科等

高等学校教諭「家庭」「農業」「工業（機械、電気、工業化学）」「水産」で実施します。

### (2) 採用予定数

若干人（一般選考の採用予定数とは別枠）

### (3) 応募資格

① 年齢は「**2**選考区分、採用予定数及び出願資格」の記載と同じとします。

② 研究施設、民間企業、官公庁（国公立学校の家庭、農業、工業、水産の実習助手を含む）において、正規職員（任期を定めて採用された職員を除く）として、受検前過去6年間（令和2年度から令和7年度まで）で、通算3年以上（休職期間等勤務の実態がない期間は含まない）の家庭、農業、工業、水産のいずれかに関する実務経験を有する者、または、国公立学校で当該教科の常勤の臨時職員（講師、助教諭）として受検前過去6年間（令和2年度から令和7年度まで）で、通算3年以上（休職期間等勤務の実態がない期間は含まない）の家庭、農業、工業、水産のいずれかに関する実務経験を有する者で、次の要件ア及びイを満たす者とし、

ア 家庭、農業、工業、水産のいずれかの教科に関する専門的な知識、経験又は技能を有すること。

イ 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっていること。

### (4) その他

高等学校教諭「家庭」「農業」「工業」「水産」の普通免許状の有無は問いませんが、普通免許状を有しない場合は、合格後に特別免許状申請手続きが必要となります。

出願時に、「社会人実務経験者特別選考申請書」により資格の有無を審査し、その結果を通知します。審査が通らなかった場合は、高等学校教諭の当該教科の普通免許状を有していれば、一般選考の高等学校教諭で受検することができます。

#### 4 免許状取得猶予特別選考

- ・免許状を保有しない社会人実務者や大学院生等が、免許取得に係る期間について最大2年間採用候補者名簿登載期間を延長することができる制度です。

- (1) 出願種別・教科等  
小学校教諭、中学校教諭「全教科」、特別支援学校教諭、養護教諭で実施します。
- (2) 採用予定数  
若干人（一般選考の採用予定数とは別枠）
- (3) 応募資格
  - ① 年齢は昭和41年4月2日以降に生まれた者としします。
  - ② 次のアとイのいずれかを満たす者  
ア 民間企業、官公庁等において、令和8年3月31日まで通算5年以上の勤務経験がある者  
※勤務経験は、常勤、非常勤（アルバイト、パート）であることを問わない。  
イ 国内の大学院を修了、または令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 検査について
  - ① 一般選考受検者と同様の検査を行います。
  - ② 出願時に、「免許状取得猶予特別選考申請書」により資格の有無を審査し、その結果を通知します。審査が通らなかった場合は、受検することはできません。
  - ③ 令和11年3月31日までに出了願した種別等の教員免許が取得できなかった場合は、「採用候補者名簿」への登載を取り消します。

#### 5 大学3年時特別選考

- (1) 出願種別・教科等  
小学校教諭（「英語専科指導教員」を含む）  
中学校教諭「全教科」  
高等学校教諭「国語」「地理歴史（地理、歴史）」「公民」「数学」「理科（物理、化学、生物、地学）」「英語」「工業（機械、電気）」  
特別支援学校教諭
- (2) 採用予定数（一般選考の採用予定数とは別枠）
  - ① 小学校教諭 40人程度（「英語専科指導教員」 若干人）  
中学校教諭「全教科」 若干人  
高等学校教諭「国語」「地理歴史（地理、歴史）」「公民」「数学」「理科（物理、化学、生物、地学）」「英語」「工業（機械、電気）」 若干人  
特別支援学校教諭 20人程度
  - ② 小学校教諭、中学校教諭においては、出願形式Iのみとしします。
- (3) 応募資格
  - ① 昭和41年4月2日以降に生まれた者
  - ② 令和8年度に大学3年生として在籍し、令和9年度に大学を卒業見込の者で、選考検査に合格した場合、令和10年度から新潟県の教員となることを確約できる者（大学院進学者名簿への登載はできません。）
  - ③ 令和8年度に1種普通免許状（小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭）取得の課程認定を受けている国内の大学（通信制を含む）に在籍し、その大学の学長もしくは学部長から推薦を受けている者（推薦書及び成績証明書の提出が必要です。）
    - ・小学校教諭「英語専科指導教員」は、小学校教諭の普通免許状に加えて中学校教諭「英語」、高等学校教諭「英語」のいずれかの普通免許状が必要です。
    - ・この要件で出了願した者は、選考検査に合格した場合、令和10年度の「採用候補者名簿」に登載します。
    - ・令和10年3月31日までに卒業できなかった場合は、「採用候補者名簿」への登載を取り消します。
    - ・令和10年4月1日までに出了願した種別等の教員免許が取得できなかった場合は、「採用候補者名簿」への登載を取り消します。
- (4) 検査について  
第1次検査の加点はありません。

注1 他の都道府県の国公立学校教員及び、新潟市立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校教員として勤務している者は、この教員採用選考検査を受検することができます。

注2 現在、新潟県にある国公立学校（新潟市立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校を除く）の教員（教諭・養護教諭）である者は、この検査を受けることができません。

### 3 採用

- 1 第2次検査に合格した者は「採用候補者名簿」に登載し、原則として令和9年4月1日に本県公立学校教員に採用します。
- 2 令和9年4月1日採用予定の者には、令和8年10月に内定通知を発送します。
- 3 第2次検査の結果が不合格であってもS判定であった者を、令和9年4月1日から勤務することを条件に、「採用候補者名簿」に登載し内定とする場合があります。
- 4 令和9年4月1日採用予定の者で、令和9年4月1日までに必要とされる当該教科等の教員免許状が取得できない者は、内定及び「採用候補者名簿」への登載を取り消します。
- 5 第1次検査の加点申請をした者のうち、令和9年4月1日までに対象免許状が取得できない者は、内定及び「採用候補者名簿」への登載を取り消します。
- 6 出願・採用の校種にかかわらず、出願・採用の校種以外の学校に配置することがあります。
- 7 教諭に出願し、日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤の講師に任用します。養護教諭の出願は、これに準じて任用します。
- 8 採用された者は、採用後6年間は県教育委員会で計画的に配置します。1校目、2校目ともに3年間（高等学校に配置の場合は1校目2年間、2校目4年間）の勤務を原則とします。（異動により異校種に配置することもあります。）なお、小学校教諭出願者は、出願時、採用1校目の赴任地域を上越、中越、下越、佐渡から第3希望まで申告できることとします。（採用1校目の赴任地域が希望どおりにならない場合もあります。）
- 9 出願形式Ⅱで採用された者は、採用1校目の赴任エリアを北エリア（魚沼市、小千谷市）、南エリア（南魚沼市、湯沢町）、中エリア（十日町市、津南町）から第3希望まで申告できることとします。（採用1校目の赴任エリアが希望どおりにならない場合もあります。）
- 10 小学校教諭「英語専科指導教員」は、原則として小学校に配置され、その後も「英語専科指導教員」として異動します。
- 11 特別支援学校教諭「通級指導教室担当教員」は、免許状を所有している校種（小学校、中学校、高等学校）のいずれかに配置され、その後も「通級指導教室担当教員」として異動します。
- 12 養護教諭は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校いずれかの校種に配置されます。
- 13 妊娠、出産、病気、怪我等の理由で、令和9年度中に学校に勤務することが困難になった方は、採用を1年間猶予することができます。（猶予を希望する理由が生じた段階で、直ちにご連絡ください。）

### 4 大学院進学者名簿への登載及び選考検査の免除について

第2次検査に合格した者のうち、国内の大学院修士課程（博士（前期）課程及び教職大学院を含む。専修免許状の取得を条件とする。）（以下「修士課程」という。）に進学又は引き続き在籍を理由に採用の猶予を希望する者は、「大学院進学者名簿」への登載を希望することができます。ただし、新潟県の教員になることを確約できる者に限ります。

「大学院進学者名簿」に登載された者は、最少修了年限の年に出願することで、検査をせずに「採用候補者名簿」に登載します。「大学院進学者名簿」への登載を希望する者は、出願時に希望がある旨を必ず入力し、第2次検査合格後、速やかに大学院合格（又は大学院に在籍していること）を証明する書類と「大学院進学者名簿登載願」を提出してください。（提出期限：令和8年12月4日消印有効）

※大学院に不合格となった場合には、直ちにご連絡ください。

※上記の対象者であっても、最少修了年限で修了できなかった場合は、原則として「採用候補者名簿」への登載を取り消します。

※当該教科等の採用予定がない場合は、当該教科等の採用検査が実施されるまでの間、「大学院進学者名簿」の登載を延長します。

※要項②の社会人実務経験者特別選考、免許状取得猶予特別選考、大学3年時特別選考と大学院進学者名簿への登載との併用はできません。

## 5 第1次検査の免除・一部免除・加点

○：免除対象 △：一部免除対象 ー：対象外

### 1 第1次検査の免除

「一般選考」「障害者特別選考」において出願書類を審査して、第1次検査の免除者を決定し、第1次検査受検票発送と同時に本人へ通知します。免除が認められなかった場合は、第1次検査から受検してください。

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
<b>(1) 国公立学校に在職する正規教員</b>	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>他の都道府県の国公立学校及び新潟市立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の正規教員（教諭・養護教諭・任用期限を付さない常勤講師）として現に勤務し、令和8年3月31日までに<b>出願種別・教科（科目等）</b>と同一種別等で3年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の勤務経験を見込める者とし<sup>す</sup>ます。ただし、小学校教諭出願者については正規教員として現に勤務し、令和8年3月31日までに<b>小学校教諭</b>として1年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の勤務経験を見込める者とし<sup>す</sup>ます。</li> </ul>					

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
<b>(2) 国公立学校における正規教員経験者</b>	○	○	ー	○	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立学校（小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校）の正規教員（教諭・養護教諭・任用期限を付さない常勤講師）として、<b>出願種別・教科（科目等）</b>と同一種別等で、過去に3年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の勤務経験がある者とし<sup>す</sup>ます。</li> <li>小学校教諭出願者については正規教員（小学校教諭）として1年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の勤務経験がある者とし<sup>す</sup>ます。</li> </ul> <p>※懲戒免職、懲戒処分に関わって辞職した者を除きます。</p>					

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
<b>(3) 前回の第2次検査の結果「採用候補者名簿」に 登録されなかった者のうち、S判定であった者</b>	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>免除については、前回と同一の出願種別・教科（科目等）を受検する者に限り<sup>ま</sup>す。</li> <li>当該教科等の採用予定がない場合は、当該教科等の採用検査が実施されるまでの間、S判定による第1次検査の免除の期間を延長<sup>し</sup>ます。</li> </ul>					

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
<b>(4) 高等学校教諭の「農業」「工業（機械、電気、工業化学）」「水産」を受検する者で、出願時に次のいずれかの技術資格を有する者</b>	ー	ー	○	ー	ー
<ul style="list-style-type: none"> <li>「農業」……………技術士（農業部門、森林部門）</li> <li>「工業（機械）」……………技術士（機械部門）</li> <li>「工業（電気）」……………技術士（電気電子部門）</li> <li>「工業（工業化学）」……………技術士（化学部門）</li> <li>「水産」……………技術士（水産部門、船舶・海洋部門）、航海士</li> </ul>					

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
<b>(5) 特別支援学校教諭「通級指導教室担当教員」を受検する者で、国公立学校における通級指導教室担当教員経験者</b>	ー	ー	ー	○	ー
<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立学校（小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校）の正規教員（教諭・養護教諭・任用期限を付さない常勤講師）として、1年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の通級指導教室担当教員の勤務経験がある者とし<sup>す</sup>ます。</li> </ul>					

## 2 第1次検査の一部免除

「一般選考」「障害者特別選考」において、出願書類を審査して、第1次検査の一部免除者を決定し、第1次検査受検票発送と同時に本人へ通知します。

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
(1) 国内の教職大学院を令和9年3月31日までに修了見込みの者で、在学する教職大学院の学長が推薦する者	△	△	△	△	△
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次検査の筆答検査Iを免除します。</li> <li>・この要件での出願は、選考検査に合格した場合、新潟県の教員となることを確約できる者に限ります。</li> <li>・令和9年3月31日までに修了できなかった場合は、選考検査に合格していても、翌年度の4月1日からの採用はしません。</li> </ul>					

免除項目及びその内容等	小	中	高	特支	養護
(2) 新潟県内の国公立学校において、直近の3年間（R5.4.1～出願締め切り日）で3月以上の常勤の県費負担臨時職員等※の経験があり、現に新潟県内の国公立学校において常勤の県費負担臨時職員等として勤務をしている者 ※新潟県内の国公立学校における常勤の県費負担臨時職員等とは、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟大学又は上越教育大学のいずれかが発令した常勤の臨時職員（講師、助教諭、養護助教諭）とします。	△	△	—	△	△
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次検査の筆答検査Iを免除します。</li> </ul>					

## 3 第1次検査の加点（加点の上限：30点）

免許状及び資格に関する加点を希望する場合は、出願時に申請してください。その場合、春選考は3月9日(月)まで、夏選考は6月1日(月)までに、加点に関わる教員免許状の写し（取得見込の場合は教員免許状取得見込証明書の原本）、資格を証明する書類の写しを提出してください（当日消印有効）。

免許状や資格を証明する書類の原本は、第2次検査当日に必ず持参してください。ただし、免許状取得見込証明書の原本は出願時に提出済ですので、第2次検査当日に持参は不要です。申請に際して提出した写しと原本が一致しない場合は、第2次検査に合格していても、合格を取り消します。

なお、出願時に免許状取得見込みで加点申請した者のうち、加点申請の取り下げを希望する者は、第1次検査の受付時に申し出てください。第1次検査の翌日以降は、取り下げを認めません。

### 【免許状に関するもの】

※免許状は令和9年4月1日までに取得見込みのものも対象にします。

	対象となる免許状	小	中	高	特支
1	中学校教諭「英語」又は高等学校教諭「英語」の普通免許状	10点	—	—	—
2	「英語」以外の中学校教諭の普通免許状 ※1と併用可	10点	—	—	—
3	特別支援学校教諭の普通免許状	10点	—	—	—
4	幼稚園教諭の普通免許状	10点	—	—	—
5	小学校教諭又は特別支援学校教諭の普通免許状	—	10点	—	—
6	中学校教諭「技術」の普通免許状	—	10点	—	—
7	出願する教科以外の中学校教諭の普通免許状 ※6と併用可	—	10点	—	—
8	高等学校教諭「情報」の普通免許状	—	—	10点	—
9	出願する教科以外の高等学校教諭の普通免許状 ※8と併用可	—	—	10点	—
10	小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許状	—	—	—	10点

## 【資格に関するもの】

※資格は、現に所有しているものが対象です。1～3は重複して申請することはできません。

	対象となる資格	小	中	高	特支
1	次のいずれかの級や得点を令和2年4月1日以降に取得した者 ・実用英語技能検定（（財）日本英語検定協会）1級 ・TOEIC 945点以上（TOEIC IPは対象外） ・TOEFL iBT 95点以上 ・その他の資格・検定試験で上記と同程度とみなせるもの（新潟県ホームページに掲載の「採用選考検査Q&A」を参照） ※ 中学校教諭、高等学校教諭については、「英語」出願者に限る加点です。	15点	10点 (英語)	10点 (英語)	—
2	次のいずれかの級や得点を令和2年4月1日以降に取得した者 ・実用英語技能検定（（財）日本英語検定協会）準1級 ・TOEIC 730点以上（TOEIC IPは対象外） ・TOEFL iBT 72点以上 ・その他の資格・検定試験で上記と同程度とみなせるもの（新潟県ホームページに掲載の「採用選考検査Q&A」を参照）	10点	—	—	—
3	次のいずれかの級や得点を令和2年4月1日以降に取得した者 ・実用英語技能検定（（財）日本英語検定協会）2級 ・TOEIC 540点以上（TOEIC IPは対象外） ・TOEFL iBT 42点以上 ・その他の資格・検定試験で上記と同程度とみなせるもの（新潟県ホームページに掲載の「採用選考検査Q&A」を参照）	5点	—	—	—
4	司書教諭（文部科学省が発行している修了証書所有が条件）	5点	5点	5点	5点

## 6 出願方法（電子申請のみ受け付けます。郵送による提出が必要な書類があります。）

### 1 電子申請受付期間

**春選考** 2月9日(月)午後1時～3月9日(月)午後5時まで

**夏選考** 4月20日(月)午後1時～6月1日(月)午後5時まで

### 2 出願手順

1	新潟県教育庁義務教育課又は高等学校教育課のホームページから、新潟県教育委員会 教員募集サイトにアクセスしてください。 <a href="https://www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/">https:// www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/</a>	
2	実施要項及び電子申請受検申込者ガイドを参照の上、電子申請の入力を行ってください。	
3	入力内容を確認の上、送信してください。	
4	受検申込到達通知メールが届くので、「整理番号」及び「パスワード」を控えておいてください。	

※メールの着信拒否設定をしていると、受検申込到達通知メールが届かない場合があります。着信拒否設定を解除するか、「pref-niigata@s-kantan.com」「@pref.niigata.lg.jp」からのメールが受信できるようにドメイン指定を行ってから申請してください。

※しばらくしても受検申込到達通知メールが届かない場合は、必ず問い合わせてください。

### 3 電子申請の他に郵送による提出が必要な書類等（必ず電子申請後に郵送してください）

出願に必要な書類を角2封筒（A4サイズ240mm×332mm）に入れて「特定記録郵便」で郵送してください。（締切：春選考3月9日(月)消印有効 夏選考6月1日(月)消印有効）

※封筒の表左に「例 教員受検書類（出願種別）在中」のように朱書きしてください。なお、書類を県庁に直接持参しても受理できません。

※出願種別記載例

「一般・小学校教諭」「大3特選・小学校教諭」「一般・中学校教諭「英語」」  
 「大3特選・中学校教諭「英語」」、「障害者特選・中学校教諭「英語」」  
 「社会人特選・高等学校教諭「農業」」、「一般・特別支援学校教諭」  
 「大3特選・特別支援学校教諭」、「免許状猶予特選・小学校教諭」「一般・養護教諭」等

(1) 出願者全員が提出するもの

封筒（長形3号、のり付き）2通（受検票送付用、第1次検査結果通知用） ※ 封筒に、出願者の住所・宛名明記、「様」付記、110円切手貼付 ※ 封筒の表左下に出願種別明記 例：「一般・高等学校教諭「英語」」
---

(2) 該当する者が提出するもの（新潟県教育委員会 教員募集サイトからダウンロードしてください）

1	<b>障害者特別選考希望者</b> ・障害者特別選考申請書（指定様式） ・交付されている身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の写し
2	<b>社会人実務経験者特別選考希望者</b> ・社会人実務経験者特別選考申請書（指定様式）
3	<b>免許状取得猶予特別選考希望者</b> ・免許状取得猶予特別選考申請書（指定様式）
4	<b>大学3年時特別選考希望者</b> ・推薦書（指定様式）及び成績証明書（大学が発行する任意の様式） ※どちらも証明者厳封
5	<b>第1次検査免除希望者</b> (1) 国公立学校に在職する正規教員で、「5」の1の(1)」の要件を満たす者 ・正規教員第1次検査免除希望調書及び在職証明書（指定様式） (2) 国公立学校における正規教員経験者で、「5」の1の(2)」の要件を満たす者 ・正規教員【経験者】第1次検査免除希望調書及び勤務歴証明書（指定様式） (3) 高等学校教諭「農業」「工業（機械、電気、工業化学）」の出願者で、「5」の1の(4)」の要件を満たす者 ・該当する資格を証明する書類の写し (4) 特別支援学校教諭「通級指導教室担当教員」を受検する者で、国公立学校における通級指導担当教員経験者で、「5」の1の(5)」の要件を満たす者 ・国公立学校における「通級指導教室担当教員経験者」第1次検査免除希望調書及び勤務歴証明書（指定様式）
6	<b>第1次検査の一部免除希望者</b> (1) 国内の教職大学院を令和9年3月31日までに修了見込みの者で、在学する教職大学院の学長が推薦する者 ・教職大学院修了見込証明書及び推薦書（証明書厳封） (2) 「5」の2の(2)」の常勤の県費負担臨時職員に関する要件を満たす者 ・勤務証明書（指定様式）
7	<b>加点申請者</b> (1) 免許状に関する加点を希望する者 ・加点に関わる免許状の写し（取得見込の場合は教員免許状取得見込証明書の原本） (2) 資格に関する加点を希望する者 ・該当する資格を証明する書類の写し

※教員免許状、資格を証明する書類に記載されている姓が現在と違う場合は、戸籍抄本を提出してください。

#### 4 「第1次検査受検票」「第1次検査免除通知書」「第1次検査一部免除通知書」の交付

- (1) 春選考は4月中旬頃、夏選考は6月中旬頃に送付します。
- (2) 郵送された受検票に必要事項を記入し、写真貼付欄に顔写真を貼り、検査当日に持参してください。【上半身、脱帽、正面向きの写真（縦4cm×横3cm）で6か月以内に撮影したもの】
- (3) 春選考は4月22日(水)、夏選考は6月23日(火)までに受検票が到着しないとき又は受検票が申込みの内容と異なるときは、新潟県教育委員会まで至急問い合わせてください。

#### 5 各種連絡・各種書類提出・照会先

- (1) 小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭について  
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 新潟県教育庁義務教育課管理第1係  
電話(代表)025(285)5511 選考検査当日の緊急連絡先 電話025(280)5602
  - (2) 高等学校教諭について  
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 新潟県教育庁高等学校教育課管理係  
電話(代表)025(285)5511 選考検査当日の緊急連絡先 電話025(280)5610
- ※電話での対応は、土・日曜日及び休日を除く8時30分から17時15分の間に限ります。

### 7 第1次検査1回目(春選考)

#### 1 期日 5月10日(日)

#### 2 会場

出願種別・教科等	会場 交通アクセス
小学校教諭 小学校教諭「英語専科指導教員」	新潟県庁または新潟県立教育センター ○新潟県庁 ・新潟駅バスターミナルのりば14「C10～C12県庁線」乗車。 「県庁前」又は「県庁」バス下車。徒歩2分。もしくは、のりば10「S20～S23鳥屋野線」「S30・S31水島町線」乗車。 「県庁前」バス下車。徒歩2分 ○新潟県立教育センター ・JR内野駅下車。徒歩20分。 ※会場行きの路線バスがなく、駅からのアクセスが不便なため自家用車やタクシーでの送迎は可とします。(受検者の運転による自家用車での乗り入れは禁止します。)
中学校教諭「国語」「英語」「技術」	
高等学校教諭「国語」「工業(機械、電気、工業化学)」「商業」	
特別支援学校教諭	

※会場については、受検票発送時に通知します。

※災害発生等により、会場が変更になることがあります。新潟県教育委員会 教員募集サイトを検査直前まで確認してください。なお、当日やむを得ず検査の実施ができなくなった場合、別日程での検査は行いません。

#### 3 日程と内容

	出願種別	日程・内容等				
	一般選考等	小学校教諭	8:25	8:55	9:25	10:35
		8:55	9:25	10:35 (70分) 筆答検査Ⅰ	10:55 休憩	
		受付	検査上の注意等	教職専門科目に関するもの		

中学校教諭「国語」 高等学校教諭「国語」 「工業（機械、電気、工業化学）」「商業」	8:25   8:55	8:55   9:25	9:25   10:20 (55分)	10:20   10:40	10:40～12:10 (90分)	筆答検査Ⅱ（出願教科）
小学校教諭「英語専科指導教員」 中学校教諭「英語」	受付	検査上の注意等	筆答検査Ⅰ 教職教養 及び 一般教養	休憩	10:40～12:10 (90分)	筆答検査Ⅱ（出願教科等）
12:10～13:20 (70分)					昼食・休憩	
13:30～13:40					受付・説明	
13:40～16:50					オーラルプレゼンテーション	
中学校教諭「技術」					10:40～11:40 (60分)	筆答検査Ⅱ（出願教科等）
					11:40～12:50 (70分)	昼食・休憩
					13:00～13:10	受付・説明
					13:20～16:50	実技検査
特別支援学校教諭					10:40～12:10 (90分)	筆答検査Ⅱ (出願種別に関するもの)

※小学校教諭の筆答検査Ⅰ、Ⅱは、文部科学省から参考提供された小学校教員資格認定試験問題を利用する予定です。

※小学校教諭「英語専科指導教員」は、中学校教諭「英語」と同一の検査を行います。

#### 4 配点

出願種別	筆答検査Ⅰ	筆答検査Ⅱ	実技検査	合計
小学校教諭	100点	100点		200点
小学校教諭「英語専科指導教員」	60点	200点		260点
中学校教諭「国語」「英語」				
高等学校教諭				
中学校教諭「技術」	60点	100点	100点	260点
特別支援学校教諭	60点	200点		260点

※小学校教諭「英語専科指導教員」、中学校教諭、高等学校教諭「英語」の筆答検査Ⅱには、オーラルプレゼンテーションを含みます。

#### 5 判定基準

- 「筆答検査Ⅰ」、「筆答検査Ⅱ」及び「実技検査」とも設定した基準に達しない者は不合格とします。
- 上記(1)による不合格者を除き、「筆答検査Ⅰ」、「筆答検査Ⅱ」及び「実技検査」の合計点に基づき、提出書類の記載内容等も含めて一件ごとに審査を行い、合否判定を行います。

#### 6 当日の提出物

##### 自己申告用紙（全員）

- 自己申告用紙は、新潟県教育委員会 教員募集サイトからダウンロードし、記入してください。（A4片面印刷で左上をステープル留め）
- 写真貼付欄に顔写真を貼ってください。（第1次検査受検票に貼ったものと同じ写真）
- 第1次検査免除となる受検者には、免除通知発送時に自己申告用紙の提出方法について通知します。

#### 7 検査結果の発表

5月下旬

- 結果を本人に通知するとともに、合格者の受検番号を新潟県教育委員会 教員募集サイトに掲載します。6月3日(水)までに通知されない場合は、電話で照会してください。

## 8 第1次検査2回目（夏選考）

1 期日 7月5日(日)

2 会場（予定）

出願種別・教科等	会場 交通アクセス
小学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭	○新潟県立新潟南高等学校 ・JR越後線「上所駅」下車。徒歩7分。 ・新潟駅バスターミナル10番線「S20・S21鳥屋野線」乗車。「南高校前」バス停下車。徒歩1分。
中学校教諭「国語」「社会」「数学」「理科」 高等学校教諭「国語」「地理歴史(地理、歴史)」「公民」「数学」「理科(物理、化学、生物、地学)」「情報」「農業」「工業(機械、電気、工業化学)」「商業」「水産」	○新潟県立新潟高等学校 ・JR越後線「白山駅」下車。徒歩15分。 ・新潟駅バスターミナル7番線「W20・W21・W22西小針線」もしくは8番線「C31信濃町線、W10・W12有明線」もしくは9番線「C21浜浦町線」乗車。「新潟高校前」バス停下車。徒歩3分。
小学校教諭「英語専科指導教員」 中学校教諭、高等学校教諭「音楽」「美術」「保健体育」「家庭」「英語」 中学校教諭「技術」	○新潟県立新潟商業高等学校 ・JR越後線「白山駅」下車。徒歩5分。 ・新潟駅バスターミナル7番線「W20・W21・W22西小針線」もしくは8番線「C31信濃町線、W10・W12有明線」もしくは9番線「C21浜浦町線」乗車。「新潟商業高校前」バス停下車。徒歩1分。

※災害発生等により、会場が変更になることがあります。新潟県教育委員会 教員募集サイトを検査直前まで確認してください。

3 日程と内容

出願種別	日程・内容等					
一般選考等	小学校教諭	8:25	8:55	9:25	10:20	10:50~11:50 (60分) 筆答検査Ⅱ (国、数)
	小学校教諭「英語専科指導教員」 中学校教諭 高等学校教諭	8:55	9:25	10:20 (55分) 筆答検査Ⅰ 教職教養及び一般教養	10:50 休憩	中学校教諭「国語」「社会」「数学」「理科」 高等学校教諭「国語」「地理歴史(地理、歴史)」「公民」「数学」「理科(物理、化学、生物、地学)」「情報」「農業」「工業(機械、電気、工業化学)」「商業」「水産」 10:50~12:20 (90分) 筆答検査Ⅱ (出願教科)
						中学校教諭、高等学校教諭「音楽」「美術」「保健体育」「技術」「家庭」 10:50~11:50 (60分) 筆答検査Ⅱ (出願教科) 11:50~13:00 (70分) 昼食・休憩 13:00~13:10 実技受付 13:10~16:50 実技検査
						小学校教諭「英語専科指導教員」 中学校教諭「英語」、高等学校教諭「英語」 10:50~12:20 (90分) 筆答検査Ⅱ (出願教科) 12:20~13:30 (70分) 昼食・休憩 13:30~13:40 受付・説明 13:40~16:50 オーラルプレゼンテーション
	特別支援学校教諭 養護教諭					10:50~12:20 (90分) 筆答検査Ⅱ (出願種別に関するもの)
社会人実務経験者特別選考 高等学校教諭					「家庭」「農業」「工業(機械、電気、工業化学)」「水産」 10:50~12:20 (90分) 筆答検査Ⅱ (出願教科)	

※小学校教諭「英語専科指導教員」は、中学校教諭「英語」と同一の検査を行います。

#### 4 実技検査等の内容

	出願種別	教科	実技検査等の内容
一般選考等	中学校教諭 高等学校教諭	音楽	令和8年度用文部科学省検定済教科書中学校音楽に掲載されている「赤とんぼ」「花の街」「夏の思い出」「浜辺の歌」「荒城の月」「花」「早春賦」の中から当日指定する1曲を、ピアノ伴奏をしながら歌唱する。(楽譜は当日指定したものを使用)
		美術	当日、課題を提示
		保健体育	検査種目 ①「バスケットボール」②「マット運動」③「ソフトボール」 ④「武道(当日、柔道または剣道から1種目選択)」
		家庭	当日、課題を提示
	技術	当日、課題を提示	
	小学校教諭「英語専科指導教員」 中学校教諭「英語」 高等学校教諭「英語」		英語によるオーラルプレゼンテーション (テーマに対して自分の考えを英語で話す)

※実技検査に必要な持ち物については、受検票送付の際に通知します。

#### 5 配点

出願種別	筆答検査Ⅰ	筆答検査Ⅱ	実技検査	合計
小学校教諭	60点	200点		260点
小学校教諭「英語専科指導教員」	60点	200点		260点
中学校教諭、高等学校教諭(実技なし)	60点	200点		260点
中学校教諭、高等学校教諭(実技あり)	60点	100点	100点	260点
特別支援学校教諭	60点	200点		260点
養護教諭	60点	200点		260点

※小学校教諭「英語専科指導教員」、中学校教諭、高等学校教諭「英語」の筆答検査Ⅱには、オーラルプレゼンテーションを含みます。

#### 6 判定基準

- (1) 「筆答検査Ⅰ」、「筆答検査Ⅱ」及び「実技検査」とも設定した基準に達しない者は不合格とします。
- (2) 上記(1)による不合格者を除き、「筆答検査Ⅰ」、「筆答検査Ⅱ」及び「実技検査」の合計点に基づき、提出書類の記載内容等も含めて一件ごとに審査を行い、合否判定を行います。

#### 7 当日の提出物

##### 自己申告用紙(全員)

- 自己申告用紙は、新潟県教育委員会 教員募集サイトからダウンロードし、記入してください。(A4片面印刷で左上をステーブル留め)
- 写真貼付欄に顔写真を貼ってください。(第1次検査受検票に貼ったものと同じ写真)
- 第1次検査免除となる受検者には、免除通知発送時に自己申告用紙の提出方法について通知します。

#### 8 検査結果の発表

7月下旬

- 結果を本人に通知するとともに、合格者の受検番号を新潟県教育委員会 教員募集サイトに掲載します。8月5日(水)までに通知されない場合は、電話で照会してください。

## 9 第2次検査

### 1 期日 8月20日(木)、21日(金)、22日(土)、23日(日)

※上記期間中のいずれか1日のうち、「3 日程と内容」で示すいずれかの時間帯で実施します。

### 2 会場(予定)

出願種別	会場 交通アクセス
小学校教諭 小学校教諭「英語専科指導教員」	○新潟県立新潟よつば学園 ・新潟駅バスターミナル2番線「E60・E61竹尾線」乗車。「竹尾二丁目」バス停下車。徒歩1分。 ・新潟駅バスターミナル12番線「E70はなみずき線」もしくは「東区バス」に乗車。「市営住宅前」バス停下車。徒歩8分。
中学校教諭 高等学校教諭	○新潟県立新潟向陽高等学校 ・JR信越線 亀田駅東口徒歩8分。
特別支援学校教諭 特別支援学校教諭「通級指導教室担当教員」 養護教諭	○新潟県立江南高等特別支援学校 ・JR信越線 亀田駅東口徒歩10分。

※災害発生等により、会場が変更になることがあります。新潟県教育委員会 教員募集サイトを検査直前まで確認してください。

### 3 日程と内容

	日程・内容等	
全出願種別	8:30～12:30 個人面接Ⅰ・個人面接Ⅱ	13:00～16:35 個人面接Ⅰ・個人面接Ⅱ

- ・面接は2回実施します。  
個人面接Ⅰ：学習指導や生徒指導等に関する事項(25分程度)  
個人面接Ⅱ：教員としての資質・能力等に関する事項(25分程度)
- ・受付は、各自の面接開始時刻の30分前からの随時受付とします。

### 4 配点

	個人面接Ⅰ	個人面接Ⅱ	合計
全出願種別	50点	70点	120点

### 5 判定基準

- (1) 「個人面接Ⅰ」及び「個人面接Ⅱ」とも、設定した基準に達しない者は不合格とします。
- (2) 上記(1)による不合格者を除き、「個人面接Ⅰ」及び「個人面接Ⅱ」の合計点に基づき、提出書類の記載内容や第1次検査結果等を勘案して、一件ごとに審査を行い、可否(「採用候補者名簿」への登載)の判定を行います。
- (3) 第2次検査の可否を次のように判定します。  
合格・・・採用候補者名簿への登載  
不合格・・・S：登載された者に準ずる成績  
A：登載されなかった者のうちで上位  
B：登載されなかった者のうちで下位

### 6 当日の提出物(該当者のみ)

- (1) 第1次検査の免除項目「5」の1の(4)に該当する書類の原本
- (2) 加点申請の「免許状に関するもの」を証明する教員免許状の原本  
※教員免許状取得見込証明書は提出不要です。
- (3) 加点申請の「資格に関するもの」を証明する書類の原本

### 7 検査結果の発表及び内定通知の発送

- (1) 9月下旬に合格者の受検番号を新潟県教育委員会 教員募集サイトに掲載します。
- (2) 10月1日に内定通知を発送する予定です。  
※ 大学3年時特別選考の合格者は、令和10年度採用候補者名簿登載通知を交付します。

## 10 その他

- 1 提出された書類は返却しません。
- 2 第1次検査及び第2次検査で不合格になった者に対して、本人の選考検査結果を通知により開示します。